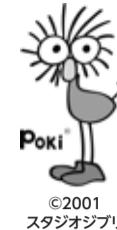


みたかの教育

令和8年(2026)

1/18

©2001
スタジオジブリ

編集・発行 三鷹市教育委員会 〒181-8505三鷹市下連雀9-11-7

市役所電話(代表) 0422-45-1151 HP <https://www.city.mitaka.lg.jp/>

「小・中学校で 「デジタル・シティズンシップ教育」を 推進しています

教育委員会では、デジタル・シティズンシップを「デジタル技術を適切に利用し責任をもって自ら考え行動し、よりよいデジタル市民になるために必要な資質・能力」と捉え、令和5年3月に「デジタル・シティズンシップ育成指針」を策定しました。

この指針に基づき、各学園・学校において特別の教科 道徳の時間での議論、保護者・地域との協働による熟議、活用型情報モラル教材「GIGAワークブックとうきょう」の活用など、子どもたちの実態に応じた工夫ある取り組みを展開しています。 ⇒指導課 29-9819



三鷹市デジタル・シティズンシップ育成指針



三鷹市デジタル・シティズンシップ「私の行動宣言集」

1人1台
学習用タブレット端末を
更新しました!

子どもたちの個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、市立小・中学校では児童・生徒1人1台の学習用タブレット端末の活用を進めています。この端末を、令和8年1月から更新しました。

引き続き、デジタル技術を活用した教育活動の充実に取り組むとともに、デジタル機器のよりよい使い手となるために考え行動する子どもたちの育成を目指していきます。 ⇒総務課 29-9812



連雀学園の取り組み

連雀学園(第一中学校、第四小学校、第六小学校、南浦小学校)では今年度、各校の児童会と生徒会が中心となって「みんなが幸せになるためのデジタル・シティズンシップ宣言」を作成しました。学園共通の「わたしたちの目標」と「目標を実現するために」を基に、各学校で「使用目的」「モラル」「セキュリティ」の3つの視点からの行動宣言を決めています。



連雀学園デジタル・シティズンシップ宣言

わたしたちの目標

わたしたちはお互いの個性を大切に新しい壁に挑戦し続けられる
ような人生と社会をめざします

目標を実現するために

デジタル社会の中で目標を実現するために、わたしたち学園生は

- 人生の視野を広げるため
に活用します
(使用目的)
- お互いの個性と意見を
大切にします
(モラル)
- 自分の周りの人に関する
情報を守ります
(セキュリティ)

(例) 第六小学校の行動宣言

使用目的

- タブレットは学習のために利用しよう
- 時間を決めて使おう(長時間使わない)
(夜遅くまで使わない)
- ミライシードを積極的に活用しよう
- いろいろなアプリがあるので自分でためして、使ってみよう
- 破損や紛失に気を付けて大切にしよう

モラル

- インターネットの情報は正しいものか
確認して活用しよう
- 友達の写真は撮らない(必要なときは
先生に確認しよう)
- 個人情報(顔写真や名前など)はイン
ターネットやSNSに発信しない
- 人のことを傷つけることには使わない

セキュリティ

- 責任をもってタブレットを管理しよ
う(タブレットの貸し借りはしない)
- パスコードやパスワードは自分で管
理しよう(人には教えない)
- 設定を勝手に変えないようにしよう
- 不審なサイトにアクセスしない

学校でのデジタルを活用したICT教育

2020年の新型コロナウイルス感染症の拡大により、文部科学省のGIGAスクール構想のもと、三鷹市でも2021年1月に、市立小・中学校のすべての児童・生徒に1人1台の学習用タブレット端末が貸与されました。我が家でも市立小学校に通っていた子どもが学習用タブレット端末を持ち帰ってきた時には、時代の流れを実感するとともに、どのように子どもたちが学校で活用していくのか、また子どもたちがデジタルデバイスに依存してしまうのではないかと不安と期待が入り混じった気持ちになったのを覚えています。

デジタルデバイスの導入から早、5年の月日が経ちました。コロナ禍ではオンライン授業が可能となり、自宅にいても学びを止めないという点で効果を発揮しました。学校

の授業での活用も、先生方の努力により様々な教科で学びを深める為に効果的に活用されている現場を学校訪問で私たち教育委員も見させていただいております。また、保護者と学校との間でも校支援というアプリの導入により、通常の欠席連絡や学校から保護者への連絡等が容易に行えるようになりました。

これからの時代はデジタルデバイスを避けては生きていけない時代となります。日々進化し、また生成AIの活用など、まだまだ未知な要素を含むものも出現してきています。私も子を持つ親として、今後のICT教育の行く末を注視していくと共に、子どもたちに遅れを取らぬよう共に学んでいきたいと考えております。



教育委員
須藤 金一

学園長に聞く!

三鷹市では、7つの中学校区ごとの「学園」で、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育を行っています。このコーナーでは、学園長にお聞きした「我が学園」ならではの特色や取り組みについて紹介します。

~学園教育目標~

地域に根ざし、自らの生き方を主体的に切り拓き、創造性あふれ、国際性豊かな児童・生徒の育成を目指す。

◆学び続ける人 ◆共に生きる人 ◆たくましく伸びゆく人



ごみかわ なおき
五味川直季
学園長
(第二小学校長)

「あさん」とにしみたか学園

「あさん」は、子どもたちから案を募集して誕生した学園のイメージキャラクターです。鷹の子どもの頭に各学校のシンボルツリーが生えていて、アカマツ(二中)・サクラ(二小)・サワラ(井口小)の頭文字をとって「あさん」です。にしみたか学園の地域学校協働活動を推進する団体「あさんネット」は、このキャラクターから命名されました。



市内7つの学園の中で最初に開園し、来年20周年を迎える当学園では、この間、町会・自治会、同窓会、青少年、交通対、PTAやおやじの会といった地域の団体が、コミュニティ・スクール(以下CS)を媒介として緩やかな横のつながりを深めてきました。現在のCS委員会及びあさんネットは、様々な世代の方々が集まり、ユニークな取り組みが活発に行われています。

「探究カンファレンスin三鷹」を開催します

教育委員会では、子どもの探究心を育てる「興味開発」に力点を置いた授業づくりや子どもたちが学びをより深めることができるような指導力向上のための教員研修を(株)探究学舎と協働で行っています。この取り組みを紹介する授業発表を以下の日程で実施しますので、ぜひご参加ください。申し込み及び詳細は二次元コードをご確認ください。

日時・場所 2月28日(土)9:00~12:00 第三小学校

申込方法 ①三鷹市立学校在学の児童・生徒・保護者

1月24日(土)10:00~ 先行抽選申込

②それ以外の方

2月7日(土)10:00~ 先着申込

定員 各クラス36名まで

費用 無料



三鷹市立図書館

図書館を使って英語多読にチャレンジ!

「多読」はやさしい絵本から読書を始め、辞書を使わずに楽しみながらたくさんの本を読むことで外国語を習得する学習方法です。12月に開催したワークショップ「たのしい英語の学びかた 英語多読のススメ！」では、学生からシニア世代までおよそ40人が参加しました(写真)。今、大変注目されているこの「多読」について、図書館ホームページに英語多読本の



ラインナップを紹介しているほか、三鷹駅前図書館では英語多読コーナーを設け、市民の皆さんのチャレンジを応援しています!

⇒三鷹駅前図書館 71-0035



詳細は[こちら](#)をご覧ください。

CSの様々な取り組み

「焚き火を囲む会」は、一緒に火を囲めば自然と団らんが生まれ、仲良しの輪が広がるというコンセプトのもと、子どもたち・先生・地域協力者・保護者が気軽に入れるように、年1、2回程度各校持ち回りで土曜日の学校公開日の午後等に開催されています。「あさんカフェ」は、多忙な先生方にほっとひと息入れてもらえればと、CS委員の皆さんが学校の休憩時間においしいコーヒーを淹れてふるまうというイベントです。和やかなおしゃべりが楽しかったと各学年の先生から大変好評で、先日の二中の学校公開日には保護者をご招待する「雑談カフェ」も企画されました。

あさんネットは、中学の部活にはない活動をやってみたいという子どもたちの声と、指導ができる地域の人財をマッチングして、茶道部やダンス部といった「地域クラブ型部活動」の立ち上げ、運営にも尽力してくれています。こうした取り組みにより、コミュニティに参加する方々が増えており、スクール・コミュニティが広がっていることを実感しています。



▲焚き火を囲む会



▲あさんカフェ

地域とともにつくる授業

CS委員会のコーディネート部では、これまで「まちづくりプランナーになろう」などの地域と学校が連携して行う授業のサポートをしてきました。近年は「職業人の話を聞く」授業で、CS委員自らがご自身の仕事の内容や仕事を選択するまでの経緯をお話しする取り組みも進められており、こうした授業は学校と地域が一緒に作っているといつても過言ではありません。

CS委員会は学校の「辛口のパートナー」であるといわれていますが、にしみたか学園においては学校とCS委員会が「子どもたちのために」という目的を共有し、「そのためどうしていこうか」という前向きな議論ができる理想的な関係ができます。

子育てにも活かせるヒントが満載!! 「みたかスクール・コミュニティ講座」

10月30日、第四中学校で今年度第1回目のスクール・コミュニティ講座、三好良子先生(産業能率大学総合研究所・日本GWT協会理事長)の「人間力&関係力&コミュニケーション力のアップデートをめざそう」が開催されました(写真)。小・中学生の保護者や学校支援協力者に交じって現役中学生も一緒に講師秘伝の「コミュニケーション虎の巻」を体験し分かち合い、交流が深まる楽しい2時間でした。



※今年度の対面講座の申し込みはすべて終了しました。

2月28日(土)まで、7本のオンデマンド講座を配信しています



内容

特別なニーズを持つ子どもたちへの理解と支援

講師: 村尾愛美(東京学芸大学講師)

子どもの心身の発達とかかわり方

講師: 荒川雅子(東京学芸大学講師)

学習面での困りごとを持つ子どもの支援について

講師: 田中美歩(東京学芸大学特任講師)

今の子どもたちの心の現状と課題

講師: 小林正幸(NPO法人元気プログラム作成委員会(カウンセリング研修センター学舎プレイ)理事長/東京学芸大学名誉教授)

放課後はゴールデンタイム~地域で子どもを育てよう~

講師: 平岩国泰(放課後NPOアフタースクール代表理事/新渡戸文化学園理事長/渋谷区教育委員:教育長職務代理/渋谷区立小中学校青山キャンパス長)

無意識の思い込みに気づく~子ども・学校・地域に寄り添う対話のヒント~

講師: 井上寛美(つなぐみ合同会社 代表/一般社団法人ファミリード認定講師)

学校へ行こう 学校支援ボランティアのスタートアップ

講師: 四柳千夏子(三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員)

紹介したホームページなどは、記事内の二次元コードからもアクセスできます。